





契月没後70年・一雄没後40年記念

《令和7年度新収品公開》

# 菊池契月 一雄展

【入場無料】

画と彫刻の縁

えにし

中野市出身の日本画家・菊池契月(1879-1955)と長男の彫刻家・菊池一雄(1908-1985)の没後70年・40年を記念した展覧会を開催します。市所蔵の契月の掛軸を中心に展示するほか、新たにプロンスタ化した一雄の《平和の群像(試作)》や令和7年度収蔵作品を初公開いたします。今年度、契月生家の近くにあった旧小池家住宅より、市ゆかりの絵画作品18点を寄贈していただきました。契月をはじめ、町田曲江・細野順耳など、信州中野で自らの才能を開花させた絵師たちが次々に活躍していた時代の作品です。これらの作品を通して、芸術を生み出し、愛し、作家を支えていた中野のまちの「文化の温かさ」を感じていただけたらと思います。



## 菊池契月

Kikigetsu Kikuchi

## 日本画

[1879-1955]



1879年、長野県下高井郡中野町(現在の中野市)の細野家に生まれる。本名は元爾(かんじ)。洪温泉に滞在していた児玉果亭に南画を学んだのち、京都の南海吉堂に師事。吉堂の紹介で四条派の菊池芳文に師事(のちに芳文の養嗣子となる)。京都市立美術工芸学校や京都市立絵画専門学校(現京都市立芸術大学)の校長を務める。1955年に76歳で逝去。

## KEIGETSU・KAZUO KIKUCHI EXHIBITION



《平和の群像(試作)》  
菊池一雄

出品作家

菊池契月・菊池一雄

(以下、令和7年度新収品)

菊池芳文・細野順耳・町田曲江・佐野光穂  
佐藤倉由・宮澤芳一

## 菊池一雄

Kazuo Kikuchi

## 彫刻・デッサン

[1908-1985]



1908年、京都市生まれ。菊池契月の長男。1928年、彫刻家・藤川勇造のもとへ入門、東京大学文学部美学美術史学科に在学中から二科展で入選を重ねる。1936年に渡欧してロダンの弟子デスピオに師事。戦争により帰国・召集され一時制作を中断するが、復員後は京都市立美術専門学校・東京芸術大学の各教授を歴任。昭和の具象彫刻を代表する作家となる。